

SHAKE HANDS

東京都インドアカ協会 機関紙



2008.12.25
No.7

発行責任者 丸山正

東京都インドアカ協会

〒192-0046 東京都八王子市明神町 4-29-9 特定非営利活動法人 八王子市レクリエーション協会事務所内
TEL 042-656-0901 FAX 042-656-3709 www.indiaca.jp/tokyo/

生涯スポーツとインドアカ

会長 丸山正

ドイツ生まれの「インドアカ」がわが国に持ち込まれ、日本レクリエーション協会の手によって全国に普及が図られて既に四分の一世紀が経っている。その日本レクリエーション協会には、現在、インドアカをはじめ 41 の“生涯スポーツ団体”が加盟し、日本レクリエーション協会を先頭にして各種目の普及を図っているのである。

ところで、「インドアカ」は“生涯スポーツ”のエースとして登場してきた、いわゆるニュースポーツであるが、最近はこの“生涯スポーツ”という言葉がめっきり影を潜めてしまっている。“生涯スポーツ”とは「誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しむことの出来るスポーツ」とされており、この表現が生涯スポーツの捉え方の誤解を招いてしまい、“生涯スポーツ”という言葉が用いられなくなってきたのである。スポーツは性別、年代、経験、技能など対象によって楽しみ方が異なるのは当然である。したがって、初心者向きの和気あいあい楽しむスポーツが“生涯スポーツ”であるとする考えは間違いである。若者やベテラン競技者にとっては、チャンピオンシップのスポーツこそが彼らの“生涯スポーツ”なのである。

「インドアカ」がバレーボールやバドミントンなどの“入門ゲーム”として位置づけられているとしたら、和気あいあい楽しむことだけでよい訳だが、インドアカはれっきとした独立種目である。老若男女を問わずすべての人々が楽しめる、まさに“生涯スポーツ”としてのインドアカを普及発展させるために、和気あいあいとチャンピオンシップの両者の調和が今、求められているのである。



楽しいインドアカを！

理事長 武石記代子



日経の9月11日夕刊に“夫婦・親子で一緒に汗”のタイトルで記事が出ました。その直後、近くの体育館の一般使用（誰でも200円で3時間半プレーできる）の枠に「私でもワールドカップに出られますか？」と言って来た若い人、どこかでインドアカを聞いたのでやってみたくて来た小学生達。うれしい反面まだまだ普及度の低いスポーツだと痛感しました。こんなに楽しくいくつになってもそれなりに楽しめるインドアカを子供達や若い人に伝えて行くのは楽しんでいる

私達の役目だと思います。そうでなければ発展などほど遠いのです。なかなか自発的参加は少ない現状では、私達からのアタックこそ必要です。そしてほめて、はげまして！！

審判研修会のお知らせ

東京都インドアカ協会は、東京都レクリエーション協会主催の『第6回ニュースポーツセミナー』に参加し、「公認C級審判員認定講習会」ならびに「審判研修会」を実施します。（会場：東京体育館）
お問い合わせ、参加申し込みは、所属の協会・連盟へ。参加申し込みはお早めに。多くの方のご参加をお待ちしています。

公認C級審判員認定講習会	平成21年3月21日（土）	午前9時～午後4時30分
審判研修会	平成21年3月21日（土）	午後1時～午後4時

公認競技規則 --- 遵守は愛好者の義務

副会長 井出和夫

今更誌面に載せるのは、恥ずかしいが、まだ競技規則を軽視する一部愛好者がいるので競技規則について紹介する。

< 競技規則の原点 >

インディアカは、生涯スポーツ・レクリエーションスポーツである。

いつでも、どこでもの精神 --- インディアカボールがあれば既存の施設や用具を工夫して楽しむことができる。

だれでもの精神 --- スポーツに馴染みのなかった人や子どもから高齢者までが性別を問わず一緒に楽しむことができる。

上記を踏まえて競技規則は、単純・簡潔にし、フェアプレーでラリーを続けることで楽しみながら体力づくり、健康づくり、仲間づくりにつながるようにした。

例えば、チーム編成は老若男女の区別なし。どのポジションに移ってもそのポジションのプレーを楽しめるようローテーションを採用。相手のプレーに支障がなければ相手コートに足や体の一部が入っても、ネットタッチしても反則としない。両手打ちは認める。反則したら自ら主審に申告する。

< 2001 年改訂の目的 >

制定から 23 年が経ち、技術の向上、プレーヤーの専門化、競技志向がすすみ、怪我の増加が顕著になったことやサービスポイントが多くなったり、ラリーが続かないゲームが増えたことで見ている人からも面白くないという声が出ていることから、現状を改善することにした。改訂のポイントは怪我の回避と現状を踏まえインディアカの原点にかえて検討をした。以下主な改訂点について記す。

- ① 体力、体格の差によりラリーが続かず単純なゲーム展開を是正するために、男子、女子、混合のネットの高さを変更した。45 歳以上をシニア混合、シニア女子として新設した。この処置により怪我の減少効果があった。
- ② 競技者を 8 名とし、登録選手が全員ゲームに出られるよう誘導した。
- ③ 審判員が競技者のポジションを容易に確認できるよう胸か背に番号をつけることにした。
- ④ 相手プレーヤーとの接触による怪我を回避するためパッシングザセンターラインを設けた。
- ⑤ 大会日程の関係によりすでに定着しているラリーポイント制を明文化した。
- ⑥ ローテーションの意義そして目的を生かすために、後列競技者のアタックプレーとブロックプレーを制限した。
- ⑦ ラリーが続くように、ブロックのワンタッチは打球許容回数から除いた。
- ⑧ 時代の変化や愛好者の変化に対応してゆくために 5 年毎に競技規則を見直してゆく。

< 2006 年改訂の目的 >

2001 年から 5 年目の今回の改訂では、プレーヤー全員がローテーションをするポジションで移動したポジションの役割を果たす楽しさを得てもらうというローテーションの意義と目的を生かすことがインディアカの原点という考えを、更に自覚してもらうために一部改訂した。

- ① 後列競技者のプレーをひろげるために、バックアタッ

第 14 回東京都インディアカ大会 次回第 15 回は 2009 年 4 月 12 日 (日)

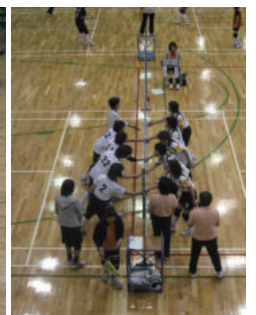
東京都インディアカ協会の主催する「第 14 回東京都インディアカ大会」が 4 月 27 日 (日) 駒沢オリンピック記念総合運動場屋内球技場で開催されました。

ゴールデンウィークとはいえ、まだ花冷えの残る 4 月の末の駒沢公園ではありましたが、試合が始まると球技場中の雰囲気は活気ある歓声で満たされました。

今年の球技場は、アリーナの床がリニューアルされ、ピカピカの床の上での熱戦となりました。メンテナンスの方

のお話ですと、「もうこれ以上削れないので、今回は最後では」とのこと。貴重な床です。東京オリンピックからは 44 年。東洋の魔女といわれた日本の女子バレーボールチームが優勝した同じ床で、今年も参加 21 チームが熱戦を展開しました。(大会結果は、ホームページ www.indiacajp/tokyo/ に掲載しています。)

次回 15 回大会も同じ会場で、2009 年 4 月 12 日 (日) 開催です。沢山のご参加をお願いいたします。



クラインを設置した。

- ②攻撃のバリエーションをひろげるために、前列3名、後列1名のポジションとした。
- ③ラリーが続くようにするために、サービスはネットより高いところから打ち返すことは反則とした。アタックとサービスのレシーブだけは両手打ちを認めた。これは早くて強いインディアカボールを防御のため、思わず両手が出てしまうことを認めたことであって、従来どおり片手打ちが原則である。サービスは腰より低い位置で打てばよいこととした。
- ④左ききプレイヤーへの配慮を含めて、サービスラインをエンドライン全体にひろげた。先ずはだれもが気楽に楽しめるようにし、更にプレイヤーは全員が満足できるプレーを目指したものである。

社会はひとりひとりが決められた約束事を守ることがひとりひとりが果たして成立している。スポーツは競技規則を守り正々堂々とプレーを競うことで成立している。競技規則の改訂は社会の変化と、とりわけプレイヤーが競技規則を斜めや裏から読んでプレーを研究することからくる問題解消、愛好者の変化、技術の向上等に対応するために改訂されてゆくのが本来の姿である。

一般に競技規則改訂は上意下達で一方的に決められている。愛好者は改訂点について学習し対処法を考え練習して競技に生かしている。インディアカは、競技規則制定から

20年以上改訂をせずきたが、2001年と5年後の2006年に一部改訂した。兩年とも指導審判員研修会等でタタキ台を示し、みなさんの意見を聞き、実技で検証したりと、時間をかけて改訂するという民主的な手続きを踏んできた。

自分たちが楽しければいいという自己愛の風潮が強い現在、「インディアカおまえもか」では困る。スポーツの命である競技規則が守られず、その不協和音が愛好者の減少、年齢層の空洞化、日本協会会員の減少、地域協会消滅といった事態になっている。

最近大学生を中心とする若い人たちは、公認競技規則の面白さに魅了されて、増加傾向にあり、ギャラリーも感動するプレーを見せてくれている。

今、体力づくり、健康づくりが政府はじめ自治体から叫ばれている。行政は旗振りだけで実際に事業を展開するのは住民という社会になった。インディアカはすでに日本協会、東京都協会、地域協会が社会教育活動を行う公益団体として社会に認められている。みなさんは、自らの意志で日本協会の会員となり、資格を取得されている。ならば、なにを思って会員になったのか、資格を与えてくれたのは誰（どこの団体）か。少なくとも日本協会規約、指導員規約に目を通してほしい。日本協会の指導方針や決められた競技規則に異を唱える人は静かに去ってほしい。これからインディアカに出会い、楽しむ人のために。そのために継続してゆく東京都協会のために。

第20回都民スポレクふれあい大会

今年で第20回という記念すべき節目の「都民スポレクふれあい大会」（昨年までは社団法人東京都レクリエーション協会と東京都教育委員会が主催でしたが、今年は「社団法人東京都レクリエーション協会」と「東京都」が主催。）。インディアカは、今年も東京都インディアカ協会が主管して9月27日（土）爽やかな秋晴れの中、東京体育館で開催されました。

大いにインディアカを楽しんでいただき、この大会がインディアカの普及とみなさんの健康増進に貢献できますよう、みなさんの手で大会を盛り上げていただきたい、という開会式での丸山会長からの挨拶のとおり、都民74チーム（混合の部32チーム、女子の部12チーム、シニア混合の部15チーム、シニア女子の部15チーム）のインディアカ愛好者で、東京体育館メインアリーナは和気あいあいの中、熱戦が繰り広げられ、大いに盛り上がりました。

第1コートは今回も、だれでも参加できる「初心者体験コーナー」が設けられ、インディアカは初心者という方と

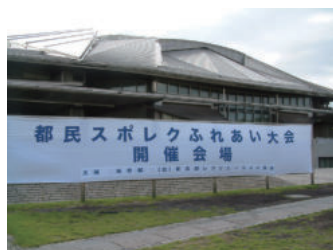
大会役員がインディアカを通してふれあう、ほほえましい姿がみられました。

昨年の大会まで、1位＝優秀、2位＝優良、だった表彰状が、今年は、1位＝優勝、2位＝準優勝、3位＝3位、とはつきりし、本文も少し変わりました。

閉会式で井出副会長から、もう少しマナーを守り、プレーマナーもキチッとしましょう、との講評がありました。また東京都インディアカ協会では、この大会のような、新しい人たちが参加でき、そこで楽しみ、地域へ帰って活動するようになるような大会を今後も心がけて行きたいと、今後の東京都のインディアカ普及に意欲を示されました。

世界的にも大きな各種大会が行われる「あこがれの」東京体育館で来年以降もインディアカができるよう、さらに競技人口を増やし、東京都インディアカ協会の会員を増やしましょう。そして来年は、もっとたくさんの参加者で、東京体育館でお会いしましょう。

(※大会結果はホームページ www.indiaca.jp/tokyo/ に掲載しています。)



「ねんりんピック鹿児島 2008」に参加して

練馬区インドアカ協会 永尾治子

インドアカは、群馬大会で参加種目となり、今回2回目の大会でした。東京は女子の部で参加。総合開会式では鹿児島全県あげでの取り組みを目の当たりにし、改めてねんりんピックが大きな大会であることを認識させられました。インドアカ交流大会は、鹿児島インドアカ協会と薩摩川内市の総力あげでのイベントで、そのもてなしには感動するばかりでした。一勝でも出来ればと思っておりましたが、予選通過1位。決勝はリンクリーグ戦のため2戦2勝でしたが、準優勝！ 銀メダルとトロフィーをいただきました。地域ボランティアの方達は勿論、対戦した広島、大阪、宮城、鹿児島チームとの懇談の場も設定され、「かごしまで・元気・ふれあい・ゆめ噴火」のテーマ通りの体験ができ、良い思い出になりました。



※ Shake Handsに掲載しますから、と原稿をお願いしておきながら、Shake Handsの発行が遅れ、いまだに掲載できていないものがあります。申し訳ありません。だいぶ時間が経ってはおりますが、ここに掲載させていただきます。平成17年の都民スポレクふれあい大会に参加された「目黒区2」チーム(加藤雄大さん)。そして、翌年4月の東京都インドアカ協会に参加の目白大学インディーズ(のみなさん)。平成17年といえば「全国レクリエーション大会 in とうきょう」が開催された年でもありました。目白大学インディーズは、この都民スポレク大会でデビューしました。年齢を感じさせない加藤さん、そして初めて勝利を勝ち取ったインディーズの喜びをどうぞ。

平成17年度都民スポレクふれあい大会に参加して

目黒区二 加藤雄大

時は、平成17年10月1日(土)、爽やかに晴れ渡った朝、代々木に在る東京体育館メインアリーナを目指して、我が「目黒二」チーム総勢7名は、日ごろの成果を十分に発揮すべく勇躍、中目黒駅を出発した。



そもそも、我がチームは、斉藤・大裕夫人両先生の指導により約10年ほど前より、烏森小学校体育館に於いて20名前後の人々が参加して始まった。毎週月曜日の夜「楽しく、怪我のない様に」をモットーに、和気藹藹、インドアカボールを打ち合っている。

古希といえば、古来稀なり、古くは数えて70歳。現在では満70歳であるが、我がチーム出場者7名中、74歳を筆頭に71歳以上が4名、平均年齢67.7歳である。しかし、皆肉体的に健康であり、精神的にも若く、元気に運動を楽しんでいる。

時おり、若い人達が入会してくるが永続させず、古いメンバーも、仕事の都合や家庭の事情等で休会や退会する人がいて、次第に参加人数が減って来ている。新しいメンバーを増やして会を活性化していきたいと思い、知人、友人に声をかけているが、皆忙しいのかなか人が集まらないのが悩みである。

さて、試合の結果としては、「渋谷区1」「昭島市2」「日野市4」に善戦空しく三連敗して、残念ながら今年の大会は終わった。過去平成14年度には、準優勝という栄誉に輝いたこともあったが、勝敗は時の運、来年の大会出場を目指して、再び一致協力し仲間との連携を深め、元気に楽しくインドアカを続けて行きたいと思っている。

東京都インドアカ大会に参加して

目白大学インディーズ

今回の大会で、私達は初めて1勝をすることができました!! まさか1勝できるだなんて思ってもみなかったもので、本当に嬉しかったです!! 3試合して、1試合目はまだ緊張を思っているように体が動かず、2セット取られて負けてしまいました。その試合後に、チームの仲間から緊張しないで次頑張ろう!と言われて自分も気持ちを切り替えて2試合目に挑みました。この2試合目が初勝利した試合です!!

まず1セット目で、自分のチームに流れがきていて点がどんどん入ってとてもいい試合ができて、ここで初めて1セット取れたことは嬉しかったし、でもまさか勝るとまではこのときは思ってもみなくて、とにかく自分は試合に集中をされていて点数さえあまり見ていませんでした。そして2セット目では、相手のチームも負けられないとどんどん攻めてきて、流れは相手チームに。2セット目は取られてしまいました。

そして3セット目に入るといいう時に、チームのメンバーが「勝てるよ!」と背中をたたいてくれて、自分もすごく負けたくない、勝ちたい! という気持ちになって、すごい集中力で試合に挑みました。

一度そういう気持ちになると、どんな球でも取ってやる! とか自分にも自信が出てきて本当に集中していました。そして最後の点が決まったとき、私はあまりに集中しすぎていて、勝ったことがわからなくて、しばらく茫然としていました。

でも、チームの仲間がすごい喜んでいて、私も次第に喜びがわきあがってきて、とても嬉しかったし、感動しました!! あのとこの喜びは絶対に忘れられないです!!

そのあとの3試合目は、2試合目で全力を注いであって集中力が切れてしまい、スタミナも切れて、2セット取られて負けてしまいました。

ここでまた反省しなければならぬことや新たな課題もでてきました。試合が終わったあとに、チームで今日の反省点や今後の課題などを話し合っ、また次も2勝、3勝

とできるように頑張っていこうと思っています!!

今回の大会で私達は少し成長できたと思います! 本当に私達にとっては忘れられない大会になりました! ありがとうございます!! (斎藤友里)

今回の大会は、私たちにとって忘れられない、記念すべき大会になりました! それは、公式戦で初勝利をあげることができたからです! 昨年10月に行われた都民スポレクで惨敗を喫し、悔しい思いをして以来、公式戦での1勝を目標に頑張ってきたので本当に嬉しかったです!!

1試合目は、緊張でおもうようなプレイが出来ず、気持ちだけが先走ってしまい何も出来ないまま負けてしまいました。

気持ちを切り替えて挑んだ2試合目。試合の雰囲気にも慣れ、チーム全体の動きが良くなって、流れが完全に自分たちの方に来ていました! そしてそのまま1セット取っていました! 2セット目は惜しくも負けてしまい、3セット目に突入!! 「ここまできたら絶対に勝ちたい!!」その一心で無我夢中になって頑張りました!! 試合に集中しすぎて、どうやって勝ったのかあまり覚えていないのですが、とにかく気づいたら勝っていました。!!! 自分たちが勝ったのが夢のように思えて、はじめは勝った実感が全然わきませんでした。その後時間が経つにつれ、じわじわと実感がわいてきて、本当に嬉しくて自然と涙が出てきました。うれし泣きなんて初めてだったかもしれません。

3試合目は、2試合目の勝利で少し気が抜けてしまったこととスタミナ不足で、また何も出来ずに負けてしまいました。2試合目の勝利を忘れるくらい、すごく悔しかったです。これは今後の課題だと思いました。

大会に出る前は、新ルールへの戸惑いや練習不足でとても不安でしたが、この大会に出て本当に良かったと思います!! チームのみんなが雰囲気を盛り上げてくれて、すごく楽しくできました!! 声を掛け合うことの大切さを改めて感じました。それに、自分の今後の課題や、じぶんたちにたりないものを発見できました。また何よりも、試合に勝つことの喜び、楽しさを知ることができてよかったです。ますますインディアカが好きになりました♥ これからもたくさん練習して、もっともっと強くなりたいです!!

(近藤美穂)

個人的にもチームとしても可能性を感じた大会でした。第一試合での惨敗で、後々の試合展開に差しかえるかと思われたが、第2試合目での格上チームとの接線に希望が湧いてきた。

ただし、第3試合目に勝利の勢いを保てず、敗退してしまったことが非常に残念に思われる。技術面で劣っていることは、今後の練習で上達が見込まれるけれど、試合経験不足による精神面の向上は、一朝一夕には身につけられるものではない。

これからのチームの課題としては、個々のプレーに緊張感を持って練習できるかどうかである。自分自身も練習においては常に集中して取り組むことを絶対条件にしておく。緊張感を持ってプレーすることに身体的にも精神的にも馴

化することができれば、どんな試合においても全力で臨むことが買おうとなる。そんなことを感じた可能性を秘めた大会だったと感じています。(中河永慶)

今回の大会では、チームの目標である「1セット取る」ことを達成し、さらにチーム初の1勝をあげることができました。でも、1セット取ったとき・1勝をあげた瞬間、私はコート内にはいませんでした。チームが1セットを取り、1勝を上げたことは私自身素直に嬉しかったです。でも、反面とても悔しかったです。

「試合に勝った」ということだけが、これからの成長に重要なのではないのだと、今回の大会で改めて実感しました。

私が出場したセットでは負けてしまい悔しい思いをしたけれども、「負けた」経験を「勝った」経験以上に私自身のなかで大切に受け取り、これからの練習・試合・大会へと少しずつ進んで行きたいと今回の大会で思いました。

(大貫洋明)

4月30日のインディアカ大会は、自分がインディアカを始めて一番嬉しい一日でもあり、一番勉強になった一日だった。

私がインディアカを始めて早一年、中野区の大会、都民スポレク、大田区の大会、あきる野の大会と4つの大会に出た。今回の大会は、協会に登録して初めて参加する公式戦ということで、少し緊張していた。

1試合目、チーム全員がすごく緊張していたので、何もさせてもらえず、0-2でやられてしまった。2試合目、少し緊張もほぐれ、本来の自分たち以上の力が出せて2-1で勝つことができた。

私たちのチームは、公式戦初勝利をしてすごく興奮した。2試合目に勝ったので、3試合目も勝ちにこうと意識を高め、3試合目に臨んだ。

3試合目は、まったく自分たちの力が出せず、簡単に0-2で負けてしまった。自分たちの未熟さをすごく感じた。

この初勝利は、中野区の方々や大田区の方々のおかげである。これからも恩返しができるようにどんどん強くなって大会にどんどん出て行きたい。これからの自分の夢は、全国制覇です。(荒木雄太)



八王子インディアカ協会

八王子市には、八王子市レクリエーション協会・八王子体育協会の2団体があり、私たち協会は、レク協会に加盟しております。

活動としては、1月 交流大会（協会主催）、4月 スポレク大会（市・市教委・レク協主催）、6月 市民インディアカ大会（市共催）の3回の大会を行っております。

各競技団体の数も多く、体育館の確保が難しく多くの大会を開くことが出来ないのが現状であります。インディアカの練習は、市内各地区にて毎日のように行われております。

八王子協会には、日本協会の宮城技術委員が居ますので、競技・ルールの指導に協会理事と協力、各市区町村より要望がありましたら、お伺いしております。



杉並区インディアカ協会

平成3年に協会が発足し、17年の時が過ぎ、協会の運営も安定して来ました。当初はニュースポーツ教室として平日昼間に普及活動が行われたので、圧倒的に家庭婦人の会員が中心で、現在もその傾向は変わりません。

最近では地域PTAの分区大会等の指導協力を積極的に関わり、若い方達が都の大会に出場したり審判の資格を取得したりして、協会としては大変素晴らしい方向に歩み始めています。

また、区内体育館で定期的で開催されている一般使用枠のインディアカにも、多数の方が協会、クラブに関係なく集ってゲームを楽しんでいて、協会も指導員を配置し、競技人口を増やして更なる発展に生かしたいと期待しています。



中野区インディアカ協会

中野区インディアカ協会は創立26周年を迎えました。ぺたんこ、イレブン、オリーブ、目白大学インディーズの4つのクラブ総勢55名の会員が楽しく活動しています。

クラブ以外の主な活動をご紹介します。

- 3/23 日曜インディアカ教室
- 4/27 第14回東京都インディアカ大会
- 7/6 フレンドシップリーグマッチ
- 7/13 第26回区民インディアカ大会
- 7/21 日曜インディアカ教室
- 8/31 日曜インディアカ教室
- 9/7 日曜インディアカ教室
- 9/13～9/15 全国レクリエーション大会 in 岩手
- 9/27 都民スポレクふれあい大会
- 10/13 中野区スポーツフェスティバル



第1コート SIG(石神井インディアカクラブ)・さわやか賞 ビックリボックス・ナイスプレイ賞
目白大学インディーズA・ベストフレンド賞 ペたんこ：にっこり賞

第2コート チーム・レインボー：初々賞 目白大学インディーズB：ハッスル賞
石小アタックガーズ：快活対戦 万モジハシ：チームワーク賞 ワクワランド：和やか賞

第3コート ビューティース・あんぽたん：仲よし賞 キューティース・とんちんかん：ほのぼの賞
あじさい：夢追い賞 真いリンゴ：ファミリー賞 ブルーンヤード：おっぴたり賞



第26回 中野区インディアカ大会
2008.7.13 中野区立中野体育館

渋谷区コミレク・インディアカ部

渋谷区のインディアカは「渋谷区コミュニティスポーツ・レクリエーション協会」の中の一科目に所属。「心地よいあせを流しましょう」をモットーに、今年20年目を迎えました。

20年にもなりますと、会員のレベルはそこそこ、アップするのは年齢だけ、維持するのが大変という現状です。

現在、若干会員数の減少に悩み、すそ野を広げるためには若い人たちが中心となり、輪を広げていってほしいと願っております。年2回程の交遊会では、多くの区市町の愛好者と共に「生涯の楽しみ作り」にご協力いただきまして、ありがとうございます。

私達渋谷のメンバーも、積極的に外部交流会に参加させていただきたいと思っておりますので、これからもよろしくご指導の程、お願いいたします。



練馬区インディアカ協会

練馬区インディアカ協会は、練馬区の生涯スポーツやインディアカの普及、振興を目指す有志によって、平成5年12月に設立され東京都インディアカ協会にも加盟しました。

平成6年2月に記念大会を開催し、翌年から、各種大会、審判講習会、楽しむ会等を開催してきました。

今年度は、5月の「総会&インディアカ大会」、8月の「審判講習会&楽しむ会」、10月の「ふれあい大泉大会」、2月の「第16回練馬区大会」を中心に、区内だけでなく区外の方とも交流し、インディアカの魅力と楽しさを多くの方に広げようと頑張っています。

10月の「ふれあいインディアカin大泉」では150名を超える参加で、5色のバンダナをそれぞれ身につけてグループで得点を競うなど趣向を凝らしながら、インディアカを楽しんでいます。



多摩市インディアカ協会

平成元年に体育指導委員が各地区の学校体育館で行った、出前インディアカ教室からインディアカの普及が始まりました。教室の参加者からサークルが出来、定期的に練習を行うクラブが誕生しました。平成7年から、各クラブの代表者会議を重ねて、協会の設立と市民大会を当協会の事業としてスタートしました。

今年の市民大会には、27チームの参加があり、大会や練習を通じて、楽しく、仲間作りが行われています。東京都大会や都民スポレク大会にクラブでの参加以外に選抜チームを作り、練習の仲間と違うメンバーで大会に参加しています。

アタックが決まらなくても、レシーブしたボールを繋げていくチームになるよう頑張っている地域です。



清瀬インディアカ協会

清瀬インディアカ協会は、平成10年に創設して以来、今年で10周年を迎えました。記念事業は、早々と昨年実施し、記念品として各加盟チームにネットを贈呈いたしました。

当初、体育指導委員にリードされ、約10年を経過した後、独立を促され3チーム約30名で結成しました。結成と同時に東京都協会に加盟し、翌年には正式に清瀬市体育協会の加盟団体となりました。平成19年の第60回都民体育大会では、優良団体として表彰されました。

現在、女子35名、男子7名の42名の会員です。春、秋の大会を中心にインディアカ教室を年3回開催し、市民への普及に努めています。

市内には、会員以外にも愛好者がたくさんいて、大会には参加していただけるのですが、加入が進みません。

さわやかな汗と和気あいあいの親睦交流が促進されるなど、インディアカの魅力は計り知れません。今後も地道にその良さを普及し、楽しい仲間を増やしていきたいと思えます。



日野市インディアカ協会

現在協会設立14年、日野市インディアカ協会は会員数170余名、役員理事19名で運営。協会加盟クラブ数は11チームで市内の中・小学校の体育館（学校開放システム）及び市民体育館を利用し活動を行っています。

年間市内大会数は5大会。7月「かわせみ大会」、8月は近隣他市を招いての「交流大会」、11月は「日野市民大会」、1月はチームによる参加ではなく個人個人による参加の「スクランブル大会」、3月は「ふれあい大会」の5大会を行っています。またその他に年1回は4名のA級審判員が主催する審判講習会を開催し、会員の審判技術の向上を目指しています。そして東京都インディアカ協会の主催する大会へのチームの派遣、運営に関しての参画。また、各県、各市町村が主催する大会へのチームの派遣も行っています。

ただ近頃の傾向として、新会員の加入が少なくなっている傾向も見受けられ、会員の高齢化も考えに入れ、新会員の確保に力を入れていきたいと思えます。



大田区インディアカ連盟

昨年大田区インディアカ連盟 10 周年を迎えることが出来、本当に嬉しい限りです。我がチーム "ウエストウィング" も連盟と共に歩んで来られたことを誇りに思っております。ウエストウィングのこれまでの歩みを述べる形で、連盟の一端を紹介させていただきます。

当チーム発足のきっかけは、大田区体育指導員の呼びかけで、インディアカの普及活動の講習会に参加した事でした。又、チーム作りにあたり、地元の方の指導を受け大変お世話になりました。連盟の基礎作りに現理事長の前原さんと一緒に参加出来たのが今日のウエストウィングの基礎となったと思います。

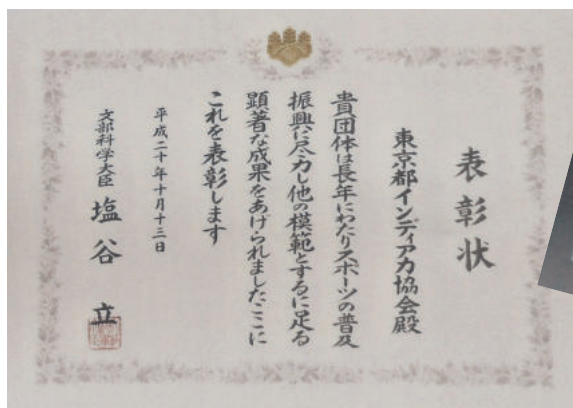
発足当初は少人数でしたが、徐々にメンバーも 20 名くらいに増え、4 チームで試合をしながら老若男女週 1 回の練習日を楽しみにしています。近年は当チームも平均年齢が高くなり、楽しみを主体とした練習に切り替えております。私共は体が動く限り、連盟と共に歩んでいきたいと思っております。

(大田区インディアカ連盟副理事長 高井貞太郎)



栄えある文部科学大臣表彰

東京都インディアカ協会は、スポーツの普及振興に寄与したとして、10月13日に栄えある文部科学大臣表彰を受けました。これを機に、更なる都民のスポーツ・レクリエーション振興に資するよう、インディアカ普及に努めていきたいと思っております。



文部科学大臣表彰の表彰状と記念の楯

協会規約が改正されました

東京都インディアカ協会の規約等が一部改正されました。今回の改正は、①社団法人日本インディアカ協会審判員制度が改定されことに基づく審判員の名称の変更、②用語の統一、③東京の「インディアカ」の現状に合わせる、という観点から一部改正されたもので、「東京都インディアカ協会規約」「団体規定」「専門委員会規定」が対象です。

公認規定と履修証について

「大会等公認規定」が制定され、履修証ができました。

東京都インディアカ協会では、所属協会が開催する大会等について、その大会(等)が東京都インディアカ協会の目的とするものであることを明確にし、更なる都民のインディアカ普及振興と、東京都インディアカ協会の円滑な運営を図るために、大会等の公認制度を採用することになりました。

東京都インディアカ協会や東京都インディアカ協会登録団体が主催、共催または主管する大会、研修会、講習会で、日本インディアカ協会公認競技規則に則って実施されるも

のがその対象となり、事前に公認の申請をし、承認されることが必要です。公認を得ることによって、登録団体事業の信頼性が高まり、あわせて審判員の活動の場が広がることにもなります。

公認された大会等に携わった会員は、活動実績として「履修証」に記録することができます。この履修証の記録が、会員の公認審判員資格取得及び更新の際に、公平かつ客観的に評価する資料として活用され、審判員の資質向上がはかれることとなります。

(※「履修証」に記録するのは、東京都インディアカ協会公認の大会等です。社団法人日本インディアカ協会が主催、主管する大会等はこれには記録しません。また、東京都インディアカ協会公認の大会等の運営に携わった記録は、日本インディアカ協会の会員証・審判員証の裏面には記載しません。)

